

The 33<sup>rd</sup> EAJRS Conference

Adapting to Changing Trends in Japanese Studies

Organized by KU Leuven Libraries Arts

# 公開画像による古典籍利用の現在

## ——国文学研究資料館共同研究を例として

The Present State of Use of Classical Texts Using Public Image :  
An example of joint research at the National Institute of Japanese Literature

速水 香織 Hayami Kaori

Shinshu University

宮本 祐規子 Miyamoto Yukiko

Shireyuri University

『伊勢物語絵巻』より：国文学研究資料館所蔵

DOI : <https://doi.org/10.20730/200024783>

URL: <https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/200024783/11?ln=ja>

# 目次 contents

1. 共同研究の目的
2. 教材の素材 I —— 『諺画苑げんがえん』
3. 教材の構成と活用 I —— カルタ形式の教材開発
4. 教材の素材 II —— 『木曾路名所図会きそじめいしよずえ』
5. 教材の構成と活用 II — ① —— すごろく形式の教材開発
6. 教材の構成と活用 II — ② —— 授業の場における使用例
7. 教材の素材を検索 —— 「国書DB」の活用

**NIJL Joint Research:**

**ICT application education based on  
classical images Development of  
programmes**

**国文学研究資料館共同研究**

**「古典籍画像に基づく I C T 活用教育  
プログラムの開発」**

# 1. 共同研究の目的

1 Development of practical teaching materials that make learning historical and classical literary knowledge fun.

1 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（歴史的典籍NW事業）」の一環として、同館の国書データベースを活用し、歴史的・古典文学的な知識を楽しく学べる実践的な教材開発を目指す。

# 1. 共同研究の目的

2 Development of learning tools that can realise independent and interactive learning in response to educational activities promoted by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

2 ICT活用教育 及び文部科学省が推進するギガスクール構想を視野に入れ、日本の伝統的な遊具「双六 sugoroku」「カルタ karuta」の形をとった主体的・対話的な学習を実現しうる学習ツールの開発に取り組む。

# 1. 共同研究の目的

3 Enjoy reading and comprehending  
Japanese classical kuzushiji characters.

3 日本語の歴史的典籍を活用するために不可欠な素養のひとつ、くずし字の読解に楽しみながら取り組める可能性を模索する。

くずし字を学ぶことは、古くて新しい世界を知ること。難しい、と思わせない工夫が必要。

# 1. 共同研究の目的

## 4 Return to society - tourism and international use

4 社会連携の観点から、観光情報学も視野に入れる。

ー観光資源の一例としての『名所図会』利用の提言。  
コロナ後の世界に向け、国内外のツーリズムを意識して、新たなガイドブックとしての利用を意識する。

国内外でオンライン公開されている古典籍利用の一例にしたい。

## 2. 教材の素材 I

## Teaching materia I

### 『諺画苑げんがえん』

#### 『諺画苑 **Gengae**n』

- 鋏形蕙斎 **Kuwagata keisai** 画
- 文化五年1808年刊
- 愛嬌のある絵で、寺社・旧跡・地名・勝景地などの由緒来歴や、道中模様、諺などを解説した絵本。





# 2. 教材の素材 I Teaching materia I

## —Painters undergoing a reappraisal

### ・ 鋏形蕙斎 (北尾政美)

2019年 stamp→

2021年 products ↓



### 「ゆるかわ」画家として再評価



# 3. 教材の構成と活用 I

Structure and use of teaching materia

## ——カルタ形式の教材開発

※ 「カルタ」とは——

『日本国語大辞典』より

Etymologically derived from **Carta** (Portuguese). Rectangular cards with pictures or letters on them, used for playing games or games of chance. The game is

東京藝術大学附属図書館 協本文庫デジタル R721.8 - 14、

DOI : 10.20730/100288086

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100288086/viewer/10>



# 3. 教材の構成と活用 I

## ——カルタ形式の教材開発

東京藝術大学附属図書館 協本文庫デジタル R721.8 - 14、  
DOI : 10.20730/100288086  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100288086/viewer/10>

※ 「カルタ」とは——

『日本国語大辞典』より

Etymologically derived from **Carta** (Portuguese). Rectangular cards with pictures or letters on them, used for playing games or games of chance. The game is

ヒント：  
風流



# 3. 教材の構成と活用 I

## ——カルタ形式の教材開発

東京藝術大学附属図書館 協本文庫デジタル R721.8 - 14、  
DOI : 10.20730/100288086  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100288086/viewer/10>

※ 「カルタ」とは——

『日本国語大辞典』より

Etymologically derived from **Carta** (Portuguese). Rectangular cards with pictures or letters on them, used for playing games or games of chance. The game is

花より団子

はなよりだんご  
Hana yori dango



# 3. 教材の構成と活用 I

## ——カルタ形式の教材開発

東京藝術大学附属図書館 協本文庫デジタル R721.8 - 14、  
DOI : 10.20730/100288086  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100288086/viewer/15>

※ 「カルタ」とは——

『日本国語大辞典』より

Etymologically derived from **Carta** (Portuguese). Rectangular cards with pictures or letters on them, used for playing games or games of chance. The game is

意味：  
風流よりも  
実利を重視  
するたとえ



# 4. 教材の素材Ⅱ Teaching materiaⅡ

## ——『木曾路名所図会』

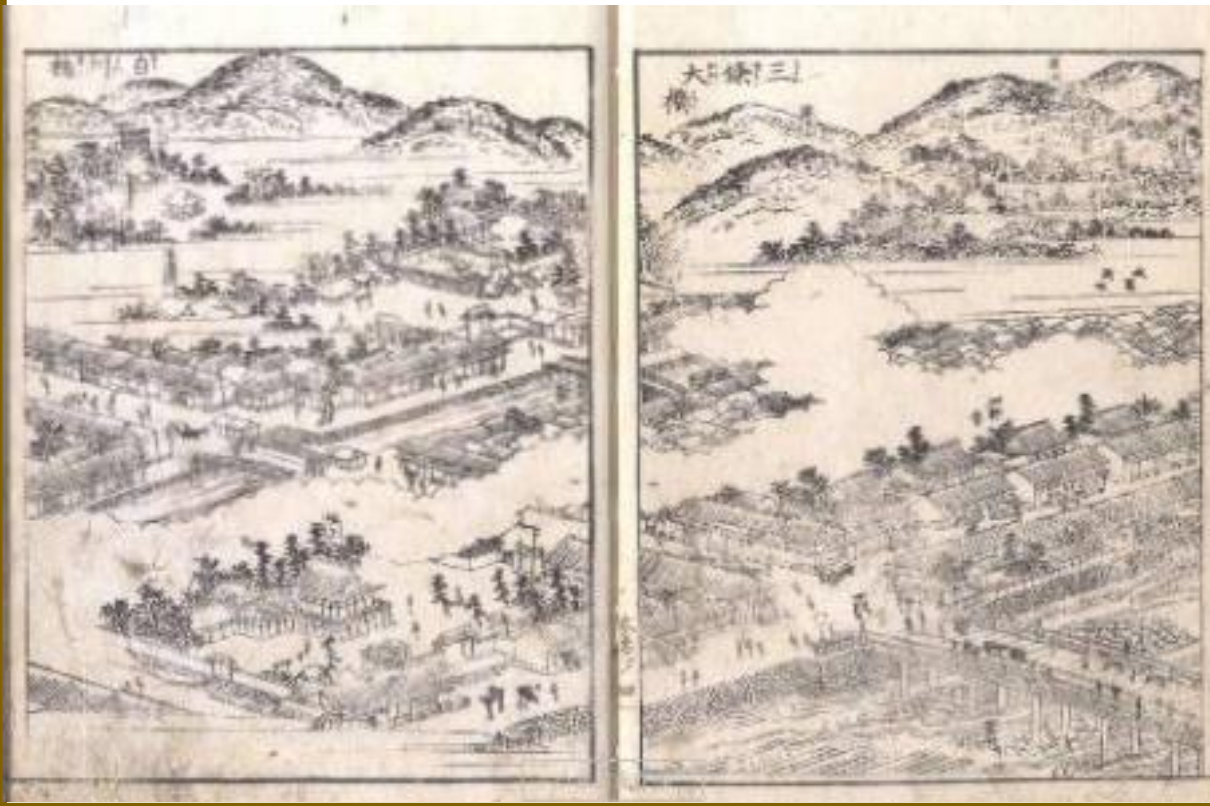
「名所図会 **Meisyozue**」とは

A **geographical journal** published actively from the **late Edo period** onwards, providing simple explanations of the history of temples, shrines, historic sites, place names and scenic spots, as well as information on roads, stations and rivers, **with many illustrations depicting actual scenes.**

江戸時代後期以降に盛んに刊行された、寺社・旧跡・地名・勝景地などの由緒来歴や、街道・宿駅・河川などの案内を平易に解説し、実景描写の挿絵を多数加えた地誌。

# 4. 教材の素材Ⅱ——『木曾路名所図会』

京都 三条大橋  
Sanjo Bridge, Kyoto.



滋賀 多賀大社  
Taga Grand Shrine, Shiga

# 4. 教材の素材Ⅱ——『木曾路名所図会』

京都 三条大橋  
Sanjo Bridge, Kyoto.



滋賀 多賀大社  
Taga Grand Shrine, Shiga



## 4. 教材の素材Ⅱ——『木曾路名所図会』

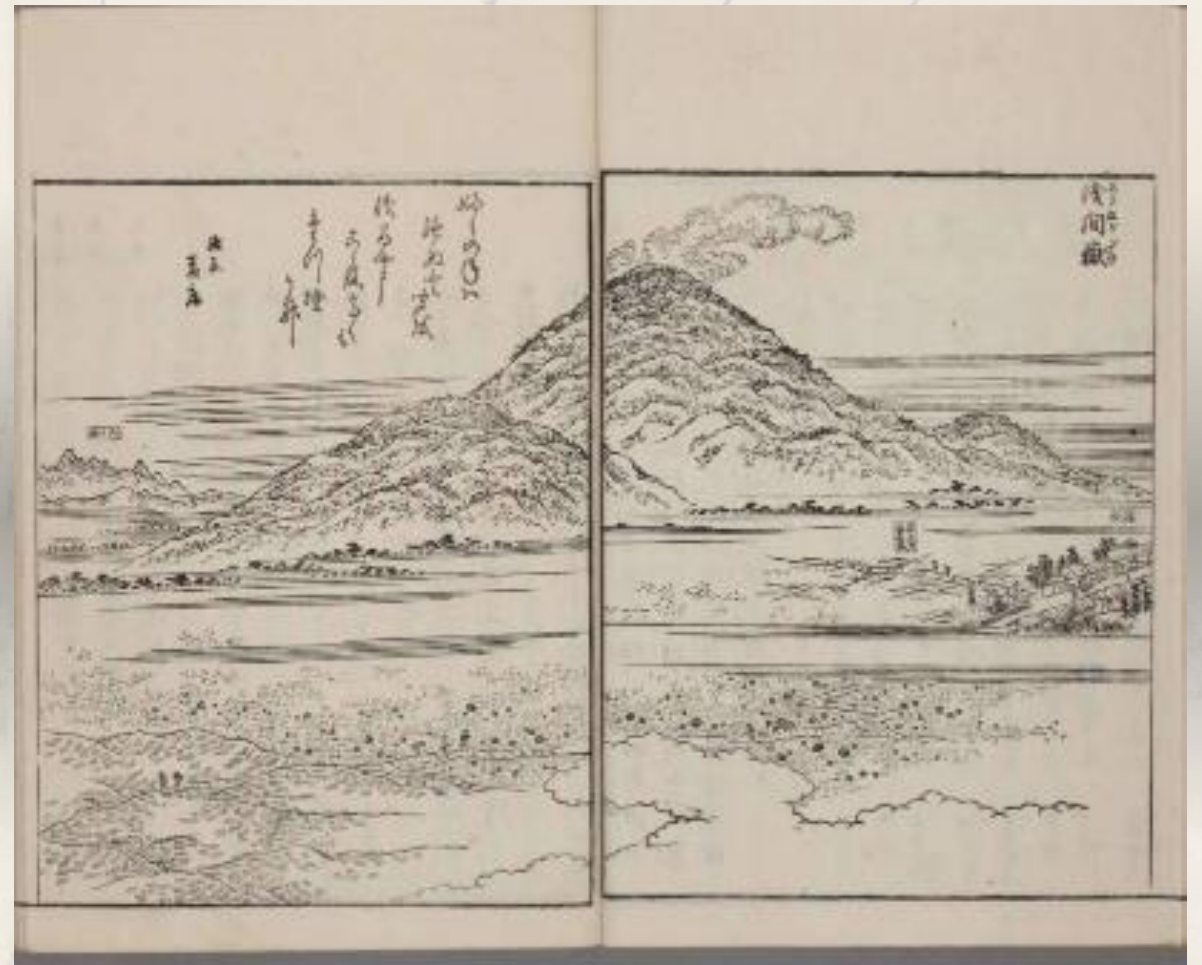
名所図会は…寺社・旧跡などまで含めた**案内地誌**として成立した。…事物の来歴などを客観的に記述し、しかも**挿絵は、絵として鑑賞にたえるほかに地理的説明****図**となっていて、名所案内としての役割と至便さが、名所記にくらべ大きく異なっている。そのうえ、名所図会が**地域別・方面別に名所を配列**するなど、工夫された編集が取られることが多く、**巡覧・巡拝者の増加とその需要**に応じて刊行されたことを物語っている。「名所図会」を冠した出版は、安永九年1780刊の秋里籬島著・竹原春朝斎画の『都名所図会』6巻11冊をもってその嚆矢とする。（『国史大辞典』より、項目執筆者…鈴木良明）

# 4. 教材の素材Ⅱ——『木曾路名所図会』

## 「木曾路名所図会きそじめいしよずえ」

- ・ 秋里籬島 編， 西村中和 画
- ・ 全 6 卷 7冊
- ・ 文化二 1805 刊
- ・ 京都 三条大橋と江戸 日本橋とを起終点とする道路・中山道の地誌。飯沼街道及び日光山の情報も掲載。

※中山道は69の宿場を設置する、江戸時代における主要道路のひとつで、多くの歴史的な旧跡があり、また多くの文学作品の舞台となった。



『木曾路名所図会』国文学研究資料館蔵  
DOI:<https://doi.org/10.20730/200018956>  
URL:<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/200018956/245?ln=ja>



# 5. 教材の構成と活用①

## — すごろく形式の教材開発

# 正解：浅間山 あさまやま



浅間山の図（文化九年〈1812〉刊『日本名山図会』より）  
国文学研究資料館蔵、DOI:10.20730/200017002  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200017002/viewer/10>

『伊勢物語』第八段挿絵  
（万治二年〈1659〉刊本より 原本所蔵：関西大学図書館）  
DOI:10.20730/100271179  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100271179/viewer/13>

信濃国（現長野県北佐久郡）と上野国（現群馬県吾妻郡）との国境にある活火山。古くは『日本書紀』（養老四年〈七二〇〉成立）に噴火の記録が見える。

『伊勢物語』（平安時代前期成立）第八段に「信濃なる浅間の嶽に立つ煙をちこち人の見やはとがめぬ」とあるなど、歌枕として和歌にしばしば詠まれた。活火山であり、噴煙を上げることから、燃え上がる恋心に例えられることが多い。



現在の浅間山

『伊勢物語』  
第八段本文を読む 

すぐろくに戻る 

# 『伊勢物語』 第八段 本文（『新編日本古典文学全集』 12巻より）

むかし、男ありけり。京やすみ憂<sup>(う)</sup>かりけむ、あづまの方<sup>(かた)</sup>にゆきて、すみ所もとむとて、友とする人、ひとりふたりしてゆきけり。信濃<sup>(しなの)</sup>の国、浅間<sup>(あさま)</sup>の嶽<sup>(たけ)</sup>に煙<sup>(けぶり)</sup>の立つを見て、

信濃<sup>(しなの)</sup>なるあさまのたけに立つけぶり をちこち人の見やはとがめぬ

【現代語訳】昔、男がいた。京が住みづらかったのだろうか、東国の方に行って、住む場所をさがそうとして、友人、一、二人とともに行った。途中、信濃の国の、浅間の山に噴煙が立ちのぼるのを見て、歌を詠む。

信濃の国にある浅間山に立ちのぼる煙、遠近<sup>(おちこち)</sup>の人々はこれを見て怪しまないだろうか。

さぞ奇異なものだと訝<sup>(いぶか)</sup>ることだろう

【参考：浅間山を詠んだ和歌】

いつとてかわが恋やまむちはやぶる浅間の嶽の煙絶ゆとも（『拾遺和歌集』恋一、読人不知）

あさましや浅間の山に立つ煙絶えぬ思ひを知る人もなし（『拾遺愚草』、藤原定家）

# 6. 教材の構成と活用②

## ——授業の場における使用例

日本近世文学学会が主催する「和本リテラシー」向上を目的とした「くずし字教育」を主体とする出前授業への学会員派遣事業の一環として、2023年8月1日（火）、長野県内の高等学校において出前授業を実施した。

その場で、本すごろく教材を授業の導入として使用した。

※日本近世文学学会…1951年12月に、江戸時代の文学研究を促進し、その発展に資することを目的として設立された学会。年2回の研究発表大会を開催し、機関誌『近世文藝』を年2回発行する。通常会員数は約650名（2022年6月現在）。



# 7. 教材の構成と活用②

## 授業の場における使用例



軽井沢にほど近い、『伊勢物語』にも登場する火山の名前は？ → 正解「浅間山<sup>あさまやま</sup>」

このクイズを導入として『伊勢物語』に話題を移し、本文中に浅間山が登場する第8段「浅間の嶽」の学習につなげる

著名な古典に登場する名所・旧跡をクイズの解答に設定しているため、学習の導入とすることも容易となる。

# 『伊勢物語』 第八段を読む

①

もうひとつ   
くずし字の文章を読む

『伊勢物語』   
第八段本文を読む

すぐろくに戻る 



しり。たごころありはかり。兼やまひら  
るよぐん。あり。あまのこいしは。あまのこいし  
みどころ。あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし  
とり。あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし  
は。あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし  
かみく  
あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし  
あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし。あまのこいし

『伊勢物語』 第八段本文

(万治二年〈1659〉刊本より 関西大学図書館蔵本)

DOI:10.20730/100271179

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100271179/viewer/13>



# 『伊勢物語』 第八段を讀 ②—注釈

『伊勢物語』  
第八段本文を読む

最初に戻る



『新板 伊勢物語頭書抄』第八段本文  
(延宝七年〈1679〉刊本より 国文学研究資料館蔵本)

DOI: <https://doi.org/10.20730/200024936>

URL: <https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/200024936/9?ln=ja>

The 33<sup>rd</sup> EAJRS Conference

Adapting to Changing Trends in Japanese Studies

Organized by KU Leuven Libraries Arts

# 公開画像による古典籍利用の現在

## ——国文学研究資料館共同研究を例として

The Present State of Use of Classical Texts Using Public Image :  
An example of joint research at the National Institute of Japanese Literature

速水 香織 Hayami Kaori

Shinshu University

宮本 祐規子 Miyamoto Yukiko Shireyuri University

『伊勢物語絵巻』より：国文学研究資料館所蔵

DOI : <https://doi.org/10.20730/200024783>

URL: <https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/200024783/11?ln=ja>